



副生塩排出量実態調査(22,23年度)

<p>塩類濃度制御可能な埋立・保管方法の確立 (22、23、24年度)</p>	<p>エコ次亜生成による下水道終末処理場消毒剤利用 (22、23、24年度)</p>	<p>エコアルカリのBDF触媒利用 (22年度)</p>	<p>副生塩の凍結防止剤利用時の生物毒性評価 (22、23年度)</p>
<p>積み増し埋立工法を想定したライシメーター実験→濃度制御型埋立工法の提案 平成24年度主課題</p>	<p>・無隔膜法、隔膜法による電解実験→無隔膜法については0.5%のエコ次亜生成が可能、隔膜法については膜の閉塞が課題 ・無隔膜法のF/S調査</p>	<p>ビーカー実験による検証→BDF触媒としての利用可能</p>	<p>メダカ成魚、孵化稚魚、植物への毒性調査→7種類の副生塩について調査、毒性は小さいことを確認</p>

副生塩リサイクルシステム等総合化